

2016年(平成28年)8月31日

アイスピグ工法

旭川市で圧送管洗浄

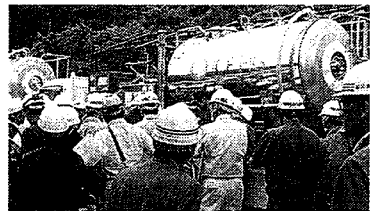
道内初施工に80人参加

TMS工業(渡邊仁社長)は、旭川市内でアイスピグ管内洗浄工法による長距離圧送管の洗浄作業を実施した。

現場は同市台場1条3丁目地内に布設された汚水圧送管(タクトイルキャスト鉄管、φ100×186)だ。元請は旭川浄化。道内初となる同工法の

施工に合わせ見学会を開催、近隣自治体職員や業者など約80人が訪れるなど、高い関心が寄せられた。

同工法は、特殊製法で生成したアイスシャープレット(SIS)を用いた革新的管内洗浄工法。伏羲し部などの複雑な配管形状部に堆積した夾雑物



近隣自治体職員らが参加

た。洗浄作業では、まず圧送管上流部からSISを注入、管内にピグ形成が確認された後、流水でピグを押し流した。回収口には約10分で到達し、夾雑物を包み込み黒色に変色したアイスピグが流れ込むと、見学者らは高い洗浄効果に感心した様

子。SIS注入から回収まで約15分間と、短時間で洗浄作業を完了した。同市内にはマンホールポ

ンプが41カ所あり、今後同工法が各地で活躍しそつた。

見学会の冒頭、同市水道局上下水道部下水道施設課職員が、圧送管の維持管理の現状を紹介。圧送管が閉塞した際、開削工事により対応を図ったものの、「開削して管を切断し、高圧洗浄車等により、油脂分などの夾雑物を除去したが、圧送管全体が完全に洗浄されたわけではない」と従来の洗浄手法の課題を述べる。とともに、アイスピグ洗浄工法への期待を語っ